

こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けをおこなってください。
安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のご注意は表面をご覧ください。

取り付けかた（つづき）

6. 取扱説明書およびオイルパック固定テープの取りはずし

- 保護用クッション材をいったん取りはずし、整流板に貼り付けてある取扱説明書をはずします。
- 付属の取扱説明書を参照して整流板を取りはずし、オイルパックを固定しているテープをはがします。固定テープをはがした後は整流板をもとどりに取り付けてください。

7. 電気配線

警告



分解・修理・改造禁止



使用禁止



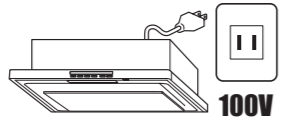
取付注意



アースを取り付ける

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります

- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります



- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります

- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください

分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

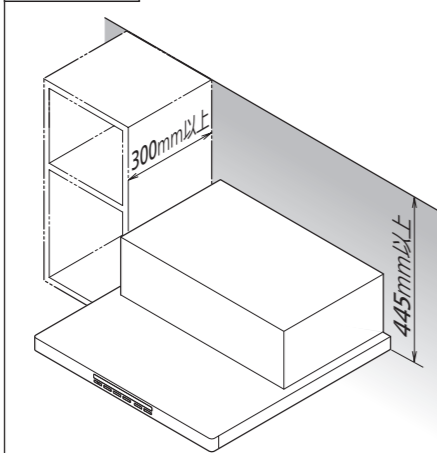
お願い

- 電源は専用のコンセント（2極差込接続器 15A、125V）およびブレーカーを設けてください。
- 「9. 試運転」までブレーカーは「入」にしないでください。
- コンセントは電源コードの長さを考慮し、設置してください。
- 必ずアース（D種接地工事）をしてください。
- レンジフードの配線工事の際、壁スイッチを設置しないでください。

8. 幕板の取り付け

- 取り付け前の寸法確認（図8-1）
フード下面から天井までの高さが445mm以上、また壁からキャビネット本体までの奥行300mm以上あるかそれぞれ確認してください。

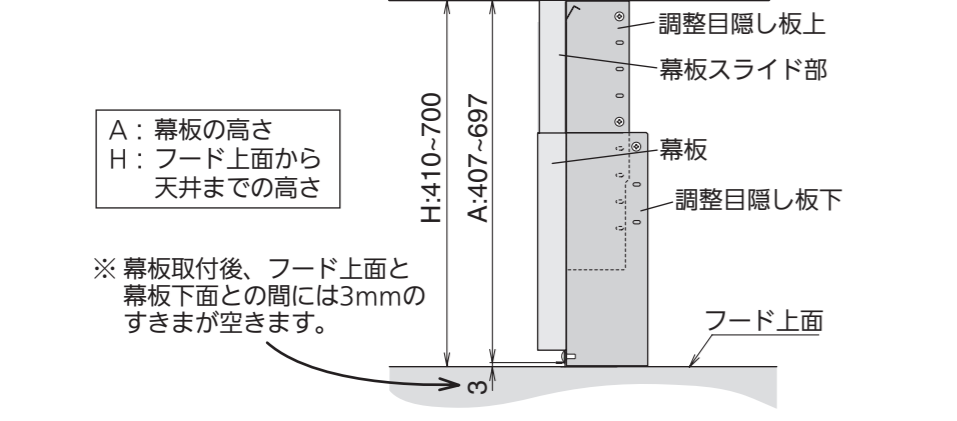
図8-1



- ※ 奥行が300mm以下の場合には別売の横幕板をご使用ください。

- 幕板取付高さ範囲（図8-2）
次式により幕板の高さを算出し、幕板のスライド部を調整して高さを合わせます。
 A （幕板の高さ）= H （フード上面から天井までの高さ）- 3mm

図8-2



- ※ 幕板取付後、フード上面と幕板下面との間には3mmのすきまが空きます。

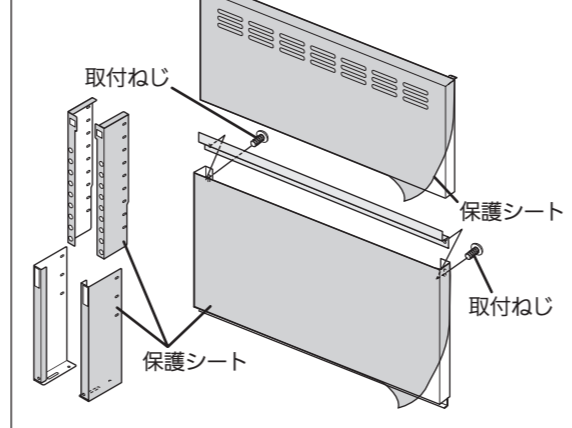
- 1 保護シートを剥がします。（図8-3）

幕板および調整目隠し板上・下に保護シートがついている場合は、保護シートをはがします。

お願い

保護シートを剥がした後はキズが付きやすいので十分注意してください。

図8-3

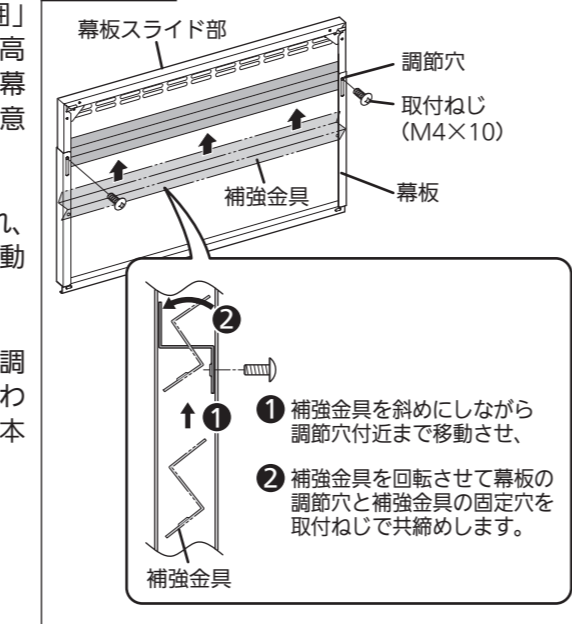


- 2 スライド部を固定します。（図8-4）

※ あらかじめ「幕板取付高さ範囲」（図8-2）を参照して幕板の高さ調整をおこなってください（幕板をキズつけないよう十分ご注意ください）。

- 1) 補強金具を幕板裏面に差し入れ、幕板の高さ調整穴付近まで移動させます。
- 2) 補強金具を回転させ、幕板の調整穴と補強金具の穴位置を合わせ、取付ねじ（M4×10）2本で固定します。

図8-4



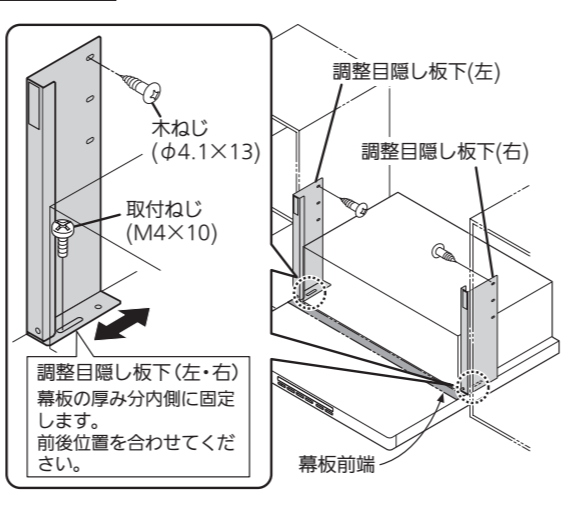
- 3 調整目隠し板下（左・右）を取り付けます。（図8-5）

お願い

調整目隠し板上・下を取り付ける際は左右を間違えないようご注意ください。

- 1) 調整目隠し板下を本体とキャビネットの間に挟み込み、付属品の取付ねじ（M4×10）で固定します。
- 2) 調整目隠し板下とキャビネットを付属品の木ねじ（φ4.1×13）で固定します。

図8-5

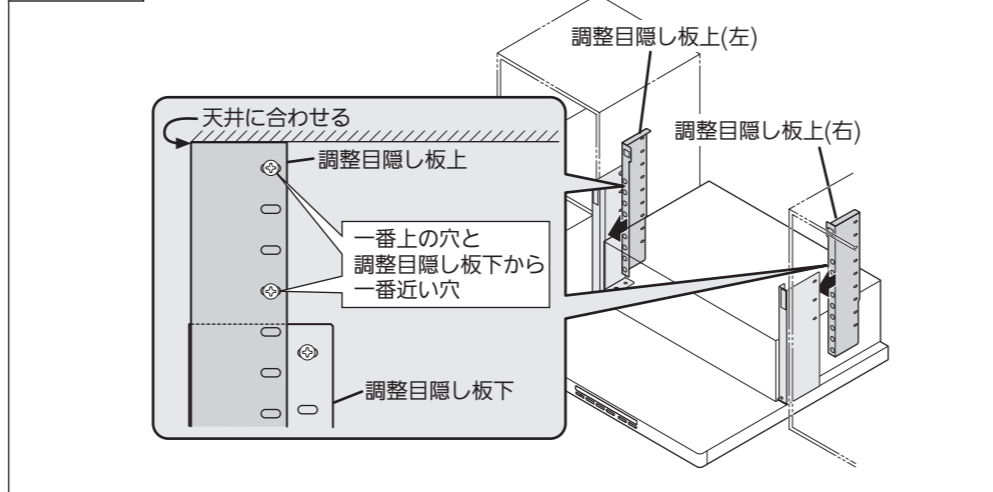


- 4 調整目隠し板上（左・右）を取り付けます。（図8-6）

調整目隠し板上を調整目隠し板下に差し込み、天井に合うよう位置を調整して木ねじ2本で固定します。

- ※ 木ねじ2本は、うち1本を調整目隠し板上にある一番上の穴、もう1本を調整目隠し板下に最も近い穴に取り付けてください。

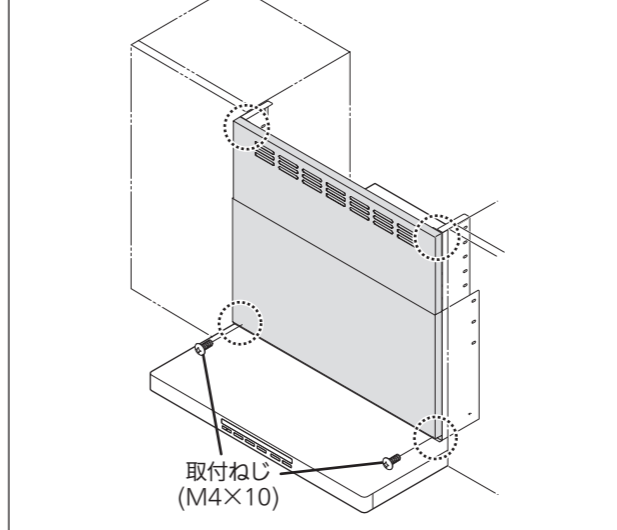
図8-6



- 5 幕板を取り付けます。（図8-7）

- 1) 幕板裏面上部にある左右のツメを調整目隠し板上の穴に引っ掛けます。
- 2) 幕板と調整目隠し板下のねじ穴を合わせ、付属品の取付ねじ（M4×10）2本で固定します。

図8-7



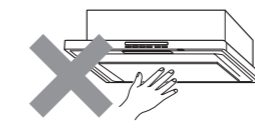
9. 試運転

注意



接触禁止

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります



- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
※ 整流板を取りはずしている場合、自動運転停止機能が作動し、ファンは回りません。必ず整流板を取り付けて確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。
- 製品保護のため、はずした保護用のクッション材と固定テープをもとの状態に取り付けてください。

10. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

〔販売元〕 **フジテックメンテナンス株式会社**

〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1-9

お問い合わせ 042-753-1447（営業部 エアプロG）

FAX 042-768-3383

ホームページ <http://www.airpro-pj.jp/>

受付時間 9:00～17:45（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）

〔製造元〕 **富士工業株式会社**

〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1-9

お客様ご相談窓口 ☎ 0120-071-686

受付時間 9:00～18:00（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）

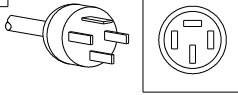
レンジフード連動ダンパー仕様取付補足説明書

この説明書は、連動ダンパー仕様として取り付ける際の補足説明書です。
取付説明書とあわせてご使用ください。

※本製品は、給気電動シャッターとの連動も行えますが、正しく配線されていしないと連動動作不良や短絡事故などの原因となります。電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。

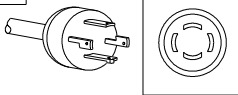
※プラグの形状を確認してください。

差込形



電気工事を容易にするために、電源用として3極接地極付差込接続器(15A 250V)を採用しています。コンセントは、JIS 3極接地極付差込接続器用(15A 250V)を使用してください。

引掛け形



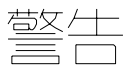
電気工事を容易にするために、電源用として3極接地極付差込接続器(20A 250V 引掛け形)を採用しています。コンセントは、JIS 3極接地極付差込接続器用(20A 250V 引掛け形)を使用してください。



配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行うこと。誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。



取付注意



アースを確実に取り付けること。故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。

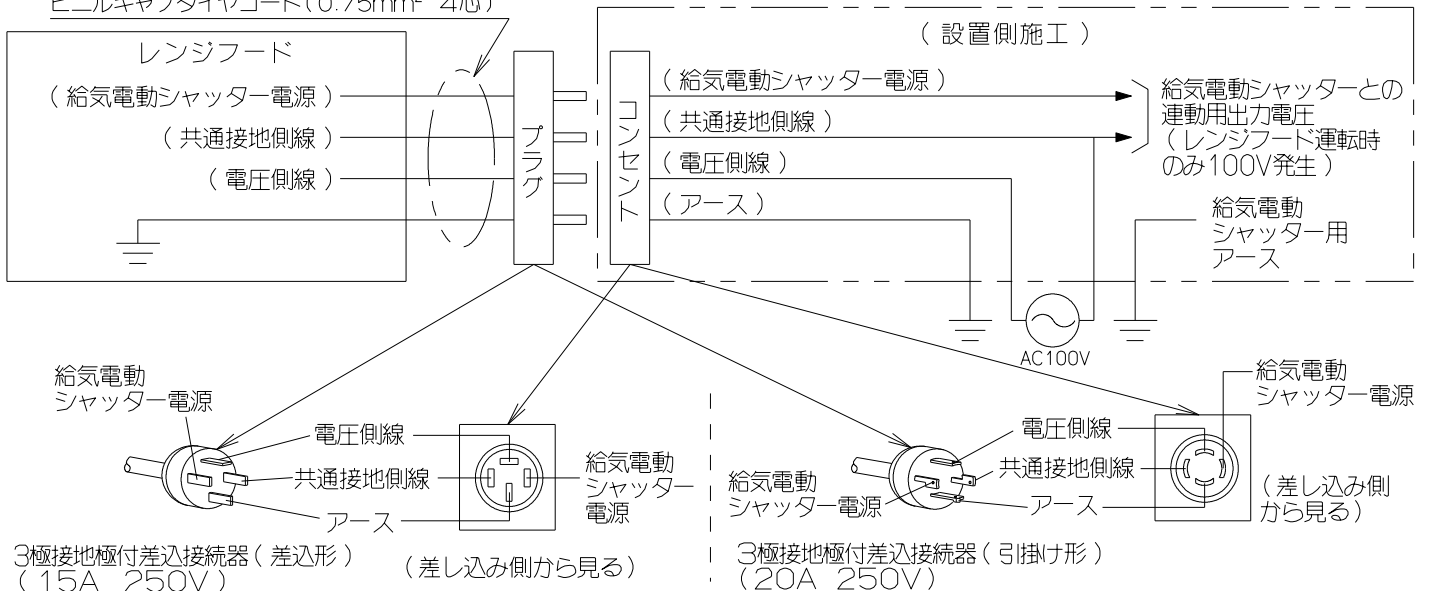


アースを取り付ける

1. 電気配線

(1) 本配線図通りに正しく配線してください。

ビニルキャブタイヤコード(0.75mm² 4心)



(2) 必ずアース(D種接地工事)をしてください。

(3) 電源プラグをコンセントに差し込みます。

2. 試運転

- スイッチを操作して運転状態を確認してください。
スイッチの操作と運転については取扱説明書「使いかた」をご覧ください。
- 運転時、各速調の排気が正しく行われていること。(各速調に差があることを確認してください。)
- 異常な騒音や振動がないこと。
- 給気電動シャッターがレンジフードの運転と連動し動作すること。